

建築用下塗塗料(溶剤系) F☆☆☆☆

Sealer series

—— より良い下地づくりの、先進シーラーシリーズ ——

ワイドシーラー-EPO

WBグリップシーラー-EPO

ピナクルシーラー

ピナクルホワイト

ラフトンエポキシシーラー

ラフトン1液浸透シーラー-EPO

グリヤーシーラー-EPO

ホワイトシーラー-EPO

アスファルトシーラー

系 統

弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を実現しました。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替用途に最適です。
- 2) 水性シーラーに比べ浸透性が良好であり、ケイ酸カルシウム板などの脆弱面への固着性に優れています。
- 3) 1液形塗料であり、2液形塗料で問題になる調合ミスや、残塗料の無駄が生じません。
- 4) 弱溶剤形のため、臭気がマイルドであり、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆で環境に優しい塗料です。

塗料性状

色	(淡褐色) 透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1.5時間
危 険 物 分 類	第四類第二石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第三種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	14kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- せっこうボード ● 合板 ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- けい酸カルシウム板(密度0.8以上)* ● 押出成形セメント板 ● 新生瓦
- 窯業素サイディングボード *乾式耐火被覆板などは塗装できません。
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合
上塗塗料
(主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス、ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)

*塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラーEPO」+弱溶剤系上塗りの工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

標 準
塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ワイドシーラーEPO	100	0.10~0.17	3時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。

粘度調整が必要な場合は、塗料シンナーを用いて希釈してください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の
注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の
注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 塗装器具の洗浄は、ラッカーシンナーの方が容易です。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材へ直接塗装すると硬化不良を起こします。また塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため、塗装は行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

弱溶剤系

WBグリップシーラー-EPO

系 統

弱溶剤2液高浸透高密着形特殊エポキシ変性有機・無機ハイブリッドシーラー

特 長

- 1) 有機・無機ハイブリッド架橋システムにより、窯業系サイディングボードに塗装されている特殊コーティングや下地の種類を選ばずに塗装可能です。さらに弱溶剤系のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく、塗替え用途に最適です。
- 2) 浸透性に優れ、劣化層・ぜい弱層を補強し、上塗りの仕上がりも良好です。
- 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
- 4) JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当

塗料性状

色	透明
仕 上 り	平滑
乾燥時間 (23℃)	3時間
危険物分類	主剤:第四類第二石油類/硬化剤:第四類第二石油類
労安法による表示	製品に表示
有機溶剤区分	第三種有機溶剤等
容 姿	2液形
容 量	15kgセット(主剤13kg・硬化剤2kg)

適合下地

- 窯業系サイディングボード(光触媒コーティング、無機系コーティング等も含む。)
- 押出成形セメント板 ● コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- けい酸カルシウム板(密度0.8以上) ● せっこうボード
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンファイラー等を塗り付け平滑にしてください。)
- 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)

適合
上塗塗料
(主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 高耐候性ラジカルプロテクト改修システム(ウォールノリシリーズ)
- 窯業系サイディングボード塗替工法(WB多彩仕上工法、WBアート仕上工法)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン)
- 高耐候性弱溶剤2液形反応硬化樹脂塗料(ワイドエポレーシリーズ)
- 弱溶剤系ふっ素樹脂塗料(ラフトンワイドフッソ)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ、ラフトンローラー)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック)
- 薄付け仕上塗材(スズカシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートン)

標 準
塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
WBグリップシーラー-EPO	100	0.08~0.18 (1~2回)	4時間以上 7日以内

塗付量は、下地の状態により増減してください。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は3時間以上

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の
注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。
- また、既存塗膜に溶剤分が残存すると、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 新品同様で劣化の進行していないつや有りの塗膜には、予め試験塗りをを行い、付着性を確認してください。

塗装上の
注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレスタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 塗装後に結露を生じると、塗膜がタレたり、シミになりますので、冬期や雨天の塗装には、十分ご注意ください。
- 塗装後のはけ、ローラーなどの用具は早めに洗浄してください。
- WBグリップシーラー-EPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- WBグリップシーラー-EPOを希釈しますと、付着不良による不具合が起きる危険がありますので、必ず無希釈でご使用ください。
- たれ、かすれ、塗り残しなどがないように、均一に塗装してください。特に、極細毛タイプのウールローラーを用いて塗装しますと、塗付量が極端に少なくなり、塗り残しを生じがちですのでご注意ください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 塗装器具の洗浄には、ラッカーシンナーの方が容易です。
- シーリング目地部への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため行わないでください。目地部及び開口部回りのシーリング打ち替えは、新築時と同じく、後打ち工法を推奨いたします。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

自己架橋形成樹脂シーラー

特 長

- 1) 架橋構造による強じんな塗膜は下地固着性・付着性・耐溶剤性にすぐれています。
- 2) 吸水性・透水性が小さく、アルカリ、エフロレッセンス、アクなどのシール性にすぐれています。
- 3) 下地への浸透性・各種仕上塗材との付着性にすぐれています。
- 4) 希釈不要の既調合タイプです。
- 5) 弾性塗材の下塗材にも最適で、幅広く使用できます。

塗料性状

色	透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危 険 物 分 類	第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第二種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	14kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- せっこうボード ● 合板 ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス、ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- アクリル樹脂塗料(ラフトンアクリエナメル)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)

標 準 塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ピナクルシーラー	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 高温時などの塗装で、糸引きが生じましたら、スズカシンナー#1000を5%以内で希釈し、ご使用ください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

自己架橋形合成樹脂系シーラー

特 長

- 1) 架橋構造による強じんな塗膜は、下地固着性・付着性・耐溶剤性にすぐれています。
- 2) 吸い込み止め効果、耐アルカリ性がすぐれています。
- 3) 各種の主材・上塗材とよく付着します。
- 4) かくはんして直ぐに塗装でき、乾燥が速いです。
- 5) 白色ですから、上塗りのとまりに寄与します。
- 6) 弾性塗材の下塗材にも最適で、幅広く使用できます。

塗料性状

色	白
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危険物分類	第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	14kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート
- せっこうボード ● 合板 ● 塗替下地(リシン面、吹付タイル面)
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- | | |
|---|---|
| ■ 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100) | ■ 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク) |
| ■ つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス、ラフトンEMエナメル) | ■ 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材
(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ) |
| ■ 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ) | ■ 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ) |
| ■ 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ) | ■ 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ) |
| ■ 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン) | ■ 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック) |
| ■ アクリル樹脂塗料(ラフトンアクリエナメル) | ■ 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリン) |
| ■ 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン) | ■ 個性創造仕上塗材(ニュートン) |
| ■ 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン) | |

標 準 塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ピナクルホワイト	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#1000をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

自己架橋形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) エポキシ樹脂の架橋タイプですので浸透固着性・付着性・耐溶剤に抜群の効果を発揮します。
- 2) 速乾性で各種の仕上塗材との付着性にすぐれます。
- 3) ケイカル板にも適します。
- 4) 1液形です。2液形のような調合の手間がいらす、均質な性能が得られます。
- 5) 弾性塗材の下塗材にも最適で、下地及び上塗材の適合幅が広範囲です。

塗料性状

色	透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危 険 物 分 類	第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第二種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	15kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート ● 合板
- けい酸カルシウム板
- せっこうボード
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンファイラー等を塗り付け平滑にしてください。)
- 押出成形セメント板(スズカシンナー#33で倍希釈(塗料:希釈剤=1:1)してご使用ください。)

適 合 上 塗 塗 料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ、AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス、ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- アクリル樹脂塗料(ラフトンアクリルエナメル)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン、ワイドウレタン)
- 2液形ポリウレタン樹脂塗料(ラフトンウレタンエナメル)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン、ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン、スズカスキン、スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン、ビューレ、セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ、ラフトンボーススタイル)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック、ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用、ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)

標 準 塗 装 仕 様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ラフトンエポキシシーラー	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。
※※上塗りに、ラフトンウレタンエナメルを使用する場合は、5時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#33をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

高浸透性自己架橋形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) エポキシ樹脂の架橋タイプですので浸透固着性・付着性・耐溶剤に抜群の効果を発揮します。
- 2) 浸透固着性に優れ、ケイカル板や押出成形セメント板にも適します。
- 3) 速乾性で各種の仕上塗材との付着性にすぐれます。
- 4) 1液形です。2液形のような調合の手間がいらす、均質な性能が得られます。
- 5) 弾性塗材の下塗材にも最適で、下地及び上塗材の適合幅が広範囲です。

塗料性状

色	透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危 険 物 分 類	第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第二種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	15kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PCパネル ● スレート ● 合板
- けい酸カルシウム板
- せっこうボード
- 押出成形セメント板(スズカシンナー#33で50%希釈してご使用ください。)

適 合 上 塗 塗 料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ, AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス, ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- アクリル樹脂塗料(ラフトンアクリルエナメル)
- 弱溶剤系ポリアウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン, ワイドウレタン)
- 2液形ポリアウレタン樹脂塗料(ラフトンウレタンエナメル)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン, ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン, スズカスキン, スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン, ビューレ, セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ, ラフトンボーススタイル)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック, ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用, ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)

標 準 塗 装 仕 様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ラフトン1液浸透シーラー-EPO	100	0.10~0.17	※ 1時間以上

塗付量は、下地の状態により増減してください。

※上塗りに、防水形及び可とう形仕上塗材を使用する場合には、塗装間隔を3時間以上取ってください。
※※上塗りに、ラフトンウレタンエナメルを使用する場合は、5時間以上取ってください。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残りますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。
- 屋根用途には使用しないでください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH1.0以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- 使用前に十分かくはんし、希釈せずに、そのままご使用ください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#33をご使用ください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)

系 統

2液反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) 浸透性に優れ、表面層が弱い素材の強度を高めます。
- 2) 上塗りとの密着性に優れ、上塗り塗料の選択幅が広がります。
- 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
- 4) 吸い込み防止に優れ、上塗りの仕上げを向上させます。
- 5) JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当

塗料性状

色	透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危 険 物 分 類	主剤:第四類第一石油類／硬化剤:第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第二種有機溶剤等
容 姿	2液形
容 量	15kgセット(主剤12kg・硬化剤3kg)／5kgセット(主剤4kg・硬化剤1kg)

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PC部材 ● スレート ● (けい酸カルシウム板
- せっこうボード ● 押出成形セメント板 ● 窯業系サイディングボード
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ, AEPモダン100)
- つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス, ラフトンEMエナメル)
- 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ)
- 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ)
- 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン)
- 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン, ワイドウレタン)
- 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン, ワイドシリコン)
- 薄付け仕上塗材(スズカリシン, スズカスキン, スズカジュラク)
- 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材(ラフトン弾性リシン, ビューレ, セラビューレ)
- 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ, ラフトンローラー)
- 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ)
- 厚付け仕上塗材(ラフトンスタック, ラフトン弾性スタック)
- 内装用仕上塗材(ラフトン内部用, ラフトンフレッシュクリーン)
- 個性創造仕上塗材(ニュートーン)
- 弱溶剤系ふっ素樹脂塗料(ラフトンワイドフッソ)

標 準 塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
クリヤーシーラー-EPO スズカシンナー#33	100 0~10	0.08~0.18 (1~2回)	16時間以上 7日以内

塗付量は、下地の状態により増減してください。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は3時間以上

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- クリヤーシーラー-EPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- シーラーのうすめすぎは、下地の強化能力が低下しますので標準希釈幅内で使用してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチル系シーリング材へは、塗装をさけてください。)

系 統

2液反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

特 長

- 1) 浸透性に優れ、表面層が弱い素材の強度を高めます。
- 2) 上塗りとの密着性に優れ、上塗り塗料の選択幅が広がります。
- 3) 耐水性、耐アルカリ性に優れ、仕上材の性能向上に役立ちます。
- 4) 吸い込み防止に優れ、上塗りの仕上げを向上させます。
- 5) JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー性能相当

塗料性状

色	白
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	1時間
危険物分類	主剤:第四類第一石油類/硬化剤:第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有機溶剤区分	第二種有機溶剤等
容 姿	2液形
容 量	15kgセット(主剤12kg・硬化剤3kg)/5kgセット(主剤4kg・硬化剤1kg)

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● PC部材 ● スレート ● けい酸カルシウム板
- せっこうボード ● 押出成形セメント板 ● 窯業系サイディングボード
- ALCパネル(新設ALCパネル面は、ラフトンフィラー等を塗り付け平滑にしてください。)

適 合 上塗塗料 (主な商品名)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ■ 合成樹脂エマルジョンペイント(AEPクリーンシリーズ, AEPモダン100) | ■ 可とう形及び防水形薄付け仕上塗材 |
| ■ つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロリス, ラフトンEMエナメル) | (ラフトン弾性リシン, ビューレ, セラビューレ) |
| ■ 水性反応硬化形樹脂塗料(エコシリーズ) | ■ 複層仕上塗材(ラフトンジャンボ, ラフトンローラー) |
| ■ 低VOC・水性反応硬化形樹脂塗料(ユニシリーズ) | ■ 防水形複層仕上塗材(ラフトン弾性ジャンボシリーズ) |
| ■ 特殊アクリル樹脂塗料(アクリルバーン) | ■ 厚付け仕上塗材(ラフトンスタッコ, ラフトン弾性スタッコ) |
| ■ 弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料(1液ワイドウレタン, ワイドウレタン) | ■ 内装用仕上塗材(ラフトン内部用, ラフトンフレッシュクリーン) |
| ■ 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料(1級ワイドシリコン, ワイドシリコン) | ■ 個性創造仕上塗材(ニュートーン) |
| ■ 薄付け仕上塗材(スズカリシン, スズカスキン, スズカジュラク) | ■ 弱溶剤系ふっ素樹脂塗料(ラフトンワイドフッソ) |

標 準 塗装仕様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
ホワイトシーラー-EPO スズカシンナー#33	100 5~25	0.08~0.18	16時間以上 7日以内

塗付量は、下地の状態により増減してください。

下地の吸い込みが著しい場合は2回塗り、工程内での塗装間隔は3時間以上

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイトンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- ホワイトシーラー-EPOは2液現場混合タイプです。材料を正しい比率で計量後、十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- シーラーのうすめすぎは、下地の強化能力が低下しますので標準希釈幅内で使用してください。
- たれ・かすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- 下地の吸い込みが著しい場合は、2回塗りしてください。
- 2液形塗料の場合、硬化反応が100%終了しますと、塗り重ね部分で層間はく離を起こす可能性がありますので、各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者・隣家・車両などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、よごれを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチル系シーリング材へは、塗装をさけてください。)

系 統

湿気硬化形ウレタン樹脂系プライマー

特 長

- 1) 湿気硬化により強靱な塗膜が得られ、下地からのブリード防止効果が良好です。
- 2) 各種上塗り材との付着性にすぐれます。
- 3) 1液形です。2液形のような調合の手間がいらず、均質な性能が得られます。

塗料性状

色	透 明
仕 上 り	平 滑
乾燥時間 (23℃)	2時間
危 険 物 分 類	第四類第一石油類
労安法による表示	製品に表示
有 機 溶 剤 区 分	第二種有機溶剤等
容 姿	1液性
容 量	16kg

適合下地

- コンクリート ● モルタル ● スレート ● ゴムアスシート
- 砂付きアスファルトシート ● ウレタン防水 ● ポリマーセメント系塗膜防水

適 合 上 塗 塗 料 (主な商品名)

- 防水材用保護仕上塗材 (HPToppAシリーズ)
- 防水材用水性高耐候性高日射反射率塗料 (クールトップ#300Si、#500Si)
- 防水材用水性2液形ウレタン樹脂高日射反射率塗料 (水性ボウスイップCOOL)
- 防水材用高日射反射率塗料 (クールトップNシリーズ)
- 歩道用高日射反射率塗料 (クールトップホドウ)
- 水性高日射反射率塗料 (クールトップスーパーシリーズ)
- 機能性下地調整塗材 (レバモルシリーズ)

標 準 塗 装 仕 様

塗 料	調 合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)
アスファルトシーラー	100	0.10~0.20	2時間以上 24時間以内

塗装間隔は、アスファルトシーラーの表面粘着がなくなるのを目安としてください。

塗付量は下地の状況により大きく変動する場合があります。

塗装方法

- はけ塗り ● ローラー塗り ● スプレー塗り ● エアレス塗り

塗替時の 注意事項

- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生することがあります。事前に試し塗りで確認してください。ふくれ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去してください。また、既存塗膜に溶剤分が残存しますと、ふくれ現象が生じる恐れがありますので、十分に乾燥後上塗りしてください。

塗装上の 注意事項

- 下地は、十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 下地のレイタンス、エフロレッセンス、汚れなどは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは、予め補修してください。
- アスファルトシーラーは溶剤系ですので、火気に十分注意してください。
- 塗装器具の洗浄には、スズカシンナー#2000をご使用ください。
- 塗装中、及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露等が予想される場合は、施工を見合わせてください。
- 使用前に十分かくはんし、そのまま塗装してください。
- たれかすれ・塗り残しなどのないよう均一に塗装してください。
- タールウレタン防水材の場合、アスファルトシーラーでも、ブリードを生じることがありますので、塗装を避けてください。

溶剤系シーラー

建築物のセメント系下地(コンクリート、モルタル、ALCパネル)せっこうボードなどに塗装する場合、その下地面を整え、上塗塗料の付着性、仕上り性を良くする役割が下塗塗料(シーラー)です。

シーラーの基本は、①下地の吸い込み防止②上塗りの付着性向上③ぜい弱下地の補強④下地のアルカリ分・シミなどのブリード防止にあります。

適合する下地および上塗塗料から、用途に合ったシーラーの選択が必要です。

溶剤系シーラーの取扱い上の注意事項

- 製品を正しく安全にご使用いただくために、下記事項を守ってください。
 - 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
 - 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
 - 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
 - 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
 - スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輛などに、飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
また、屋外で使用する場合は、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
 - 臭いは食料品・飲食物・衣類などにうつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
 - 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
 - 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
 - 目に入った場合は、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
 - 取扱い後は、手洗いうがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
 - 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
 - 火災時には炭酸ガス消火器・泡消火器・または粉末消火器を用い初期消火をしてください。
 - 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

57

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

17/11

